



<持続可能な社会を目指す>

この夏休み、私たち教員はリフレッシュとともに様々な研修を積んで資質の向上を図ってきました。私が一番印象に残った研修はSDGsに関するもので、SDGsに関する教育は、幼児教育が一番大事だというものでした。身近なところで人や自然と共に生きることの素晴らしさを体験を通して学ぶことが大事だと学びました。幼児期に人や物と関わる前向きな構え：心の根っこを育てることとつながります。すぐに関連書籍も入手しましたが、さらに学んで実践の裏付けとしていきたいと思っています。

<コロナ対策も基本をより徹底して>

最近の感染状況や医療体制のひっ迫状態を受けて、2学期の教育活動はこれまで以上に配慮をしておのの実施となります。体調が優れないときには決して無理をしないことを皆さんにお願いします。また、いつどこで誰が感染してもおかしくない状況です。何かあった際の迅速な連絡もお願いします。万一の場合の対応も、一段階違うレベルになるかもしれません。感染してしまった人の心身や人権を守る配慮も考えていかななくてはなりません。基本的な感染予防策を改めて丁寧にしていきたいと思います。

<足元からの健康を考える足育（あしいく）>

青南幼稚園は令和元年12月に、(公財)学体連の「JASPE足育」の実践報告会を行いました。現在も「足育調査研究協力園」として、足元からの健康を守るよりよい靴の開発のために、靴の貸与を受け、足にピッタリ合った靴を手を使って丁寧に履く習慣を身に付けるよう、日々指導しています。合言葉は「ベリベリ、トントン、ギュ、ピタッ!」です。ホームページの「青南足育研究所」のコーナーでは足指体操などいろいろな情報も見られますので、ぜひ一度ご覧ください。

・・・長月（ながつき）・・・

白露（7日）… そろそろ秋の空気に入れ替わります …

秋分（23日）… 暑さ寒さも彼岸まで、といいますが …

8月前半には全国的に大雨が長く続き、多くの被害が出て、心が痛みました。ブドウやザクロは、昨年の反省を生かし丁寧に剪定をしてきたので実っていますが、その長雨の影響も見られていて、人間の思い通りにはならない自然の姿も感じます。

朝晩は少しずつ涼しくなり、草むらから鳴く虫の声も聞こえるようになりました。この虫の音で季節の移り変わりを感じられる日本人の感性の素晴らしさ…、大切にしたいですね。

青南の
二十四節気



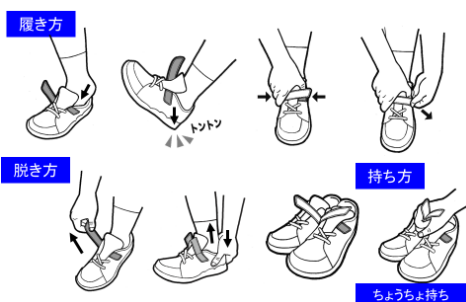
オオシオカラトンボは定住している様子です



オシロイバナが元気に咲いています



園庭の環境整備にも汗を流しています



手を使って丁寧に、正しい履き方を!



蚊対策として遊戯室に網戸が入りました